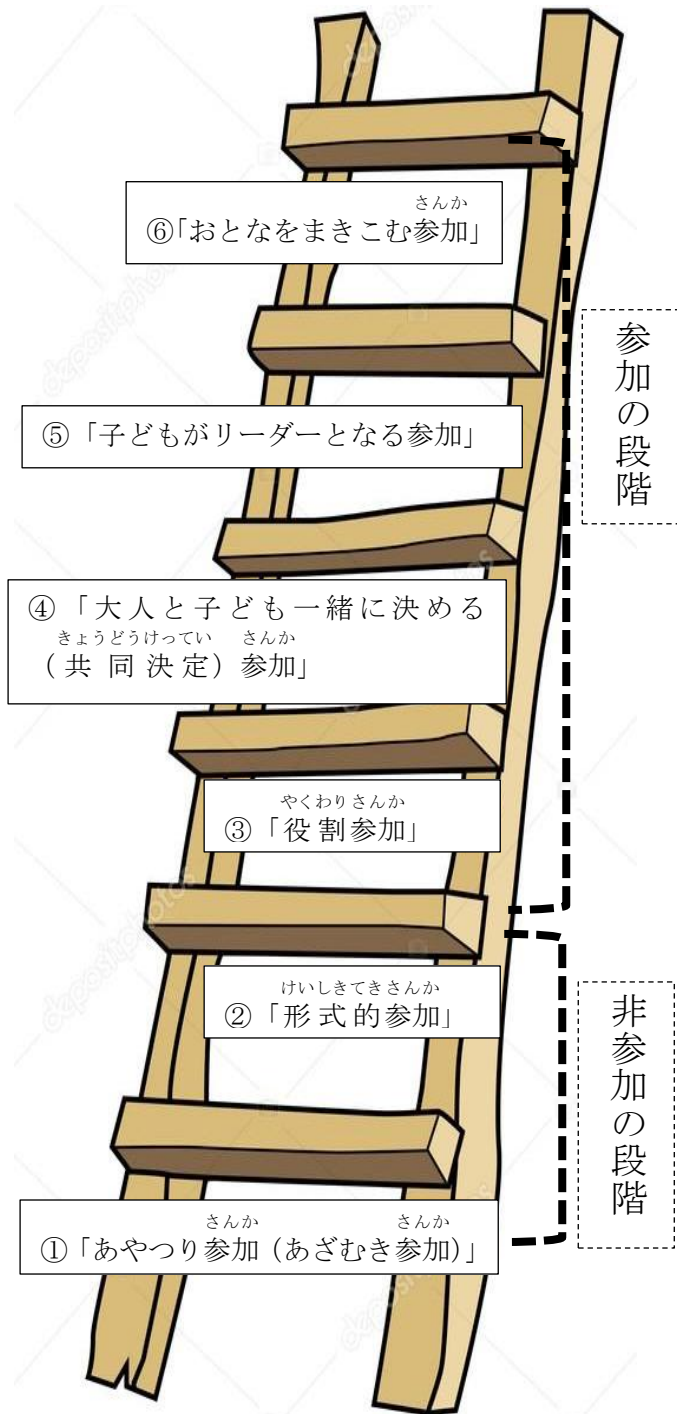


子ども参加のはしご

(ロジャー・ハート氏の「参加のはしご」を改変)



「子ども参加のはしご」の①～⑥までの説明

⑥「おとなをまきこむ参加」子どもが計画して
じっこう とき きょうりよく
実行する時に、協力してくれるおとなも一緒にやる。子どもがリーダーとなって動く。

⑤「子どもがリーダーとなる参加」子どもが自分たちで考え決定し、計画して、最後までやりきる。
*子ども主導⇒子どもが活動をひっぱる。

④「大人と子ども一緒に決める (共同決定) 参加」
きょうどうけつてい さんか
子どもと大人が活動についていっしょに考えて、どちらも納得して決める。

③「役割参加」大人が計画して、子ども達に
やくわり さんか おとな けいかく こどもたち
“役割”を与える。子ども達は“どんな活動 (こと) をするのか”についてわかっている。

②「形式的参加」子ども達は、形だけ参加させられていて、いちおう、意見や考えは伝えることはできるが、大人はその意見を聞く気はない。(大人の一方的な説明)

※「非参加」＝「参加していない」という意味※

①「あやつり参加 (あざむき参加)」大人の都合のために子どもが利用されている状態。または、子どもにうそをついて、活動に参加させている状態。